

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 Q 1/04

識別記号

庁内整理番号  
6471—3K

⑬ 公開 昭和59年(1984) 8月27日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 3 頁)

## ⑭ 車両用灯器の取付構造

磐田市岩井1907番地の1708

⑮ 特 願 昭58—22785

⑯ 出 願 人 ヤマハ発動機株式会社

⑰ 出 願 昭58(1983) 2月16日

磐田市新貝2500番地

⑱ 発 明 者 渡辺博允

⑲ 代 理 人 弁理士 小川信一 外 2 名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

車両用灯器の取付構造

## 2. 特許請求の範囲

車体枠の後部両側にそれぞれ後車輪を設けると共に、車体枠から横側方に延出して前記後車輪の上面を覆う延出部を形成した樹脂製の後フェンドを設けた車両において、前記後フェンドの各延出部に、該延出部の外側端よりも内側に位置させて、それぞれ灯器を取付けた車両用灯器の取付構造。

## 3. 発明の詳細な説明

本発明は方向指示器などの車両用灯器の取付構造に関するものであり、さらに詳しくは三輪又は四輪を有するモータサイクル（以下、自動三輪車等という）用として好適な灯器の取付構造に関するものである。

自動三輪車等の車両は、後車輪を左右一対有し、各後車輪上面を後フェンドが覆う構造になっている。この種の車両において、車体中心か

ら離間した左右に方向指示器或いは車幅灯等の灯器を一対設けようとする場合には、横転によっても灯器が簡単に破損することがないようにしなければならない。

本発明の目的は、左右一対の灯器を簡単な構造で、しかも横転した際に簡単に破損することがないようにした車両用灯器の取付構造を提供せんとすることにある。

上記目的を達成する本発明による車両用灯器の取付構造は、車体枠の後部両側にそれぞれ後車輪を設けると共に、車体枠から横側方に延出して前記後車輪の上面を覆う延出部を形成した樹脂製の後フェンドを設けた車両において、前記後フェンドの各延出部に、該延出部の外側端よりも内側に位置させて、それぞれ灯器を取付けたことを特徴とするものである。

以下、本発明を図に示す実施例により説明する。

図は本発明による方向指示器の取付構造を有する自動三輪車を示すもので、1は前輪、2、

2は車体枠5後部の左右両側に設けた後輪である。前輪1には前フェンダ3が、また後輪2には後フェンダ4が設けられている。

後フェンダ4は、樹脂により左右一体に成形されており、それぞれ左右の延出部4a、4bが車体枠5より横方向に延出し、後車輪2、2の上面を覆っている。各延出部4a、4bには外側端より内側に位置した部分に、方向指示器6、6が取付けられている。7は尾燈である。

上述した方向指示器6の取付構造は、樹脂製の後フェンダ4の延出部4a、4bに対し、その外側端より内側の位置に、方向指示器6を設けるものであるから、例えば車両が左側に横転した場合には、まず延出部4aの外側端Aが接地を行い、横転時の衝撃が方向指示器6に直接作用することはない。その後、車両がさらに傾き、方向指示器6が接地するとしても、樹脂製の後フェンダ4が弾性力を有しているから、この後フェンダ4の大きな弾性変形によって衝撃が緩和されることになる。そのため、車両が

横転した際の方向指示器6の破損を防止することができる。しかも、この方向指示器6の取付けのために、特別な手段を必要としていないので、簡単な構造ですむことになる。

本発明は実施例に示す自動三輪車に限らず、同様の後フェンダ構造を有する自動四輪車にも適用が可能である。また、方向指示器は、車幅灯等の他の灯器であってもよい。

上述したように、本発明による車両用灯器の取付構造は、車体枠の後部両側にそれぞれ後車輪を設けると共に、車体枠から横側方に延出して前記後車輪の上面を覆う延出部を形成した樹脂製の後フェンダを設けた車両において、前記後フェンダの各延出部に、該延出部の外側端よりも内側に位置させて、それぞれ方向指示器を取付ける構成としたので、左右一対の方向指示器を簡単な取付構造としながら、横転した際に簡単に破損することがないようにすることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

(3)

(4)

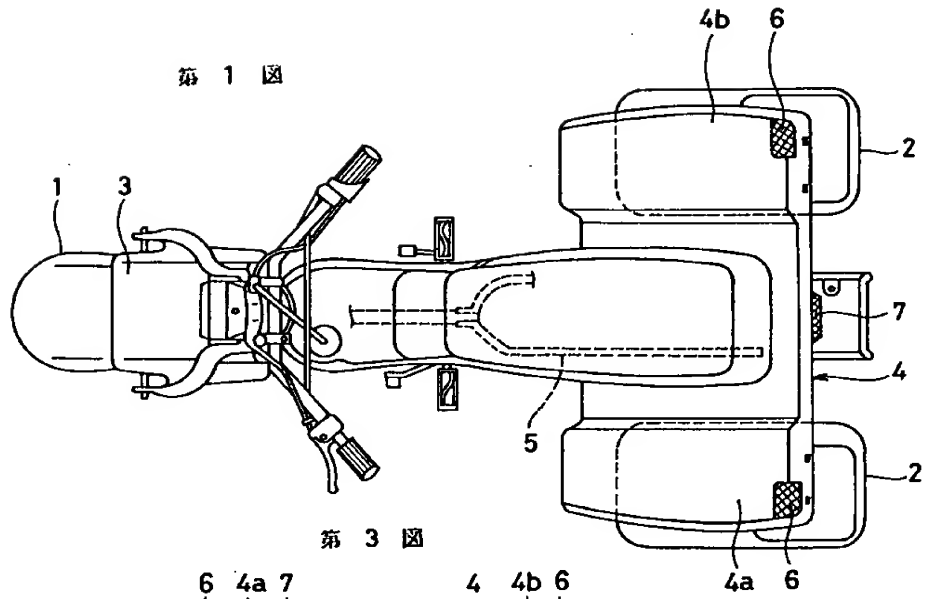
図は本発明による灯器の取付構造を有する自動三輪車を示し、第1図は平面図、第2図は後部のみを示す側面図、第3図は後面図である。

2・・・後車輪、 4・・・後フェンダ、  
4a、4b・・・延出部、 5・・・車体枠、  
6・・・方向指示器(灯器)。

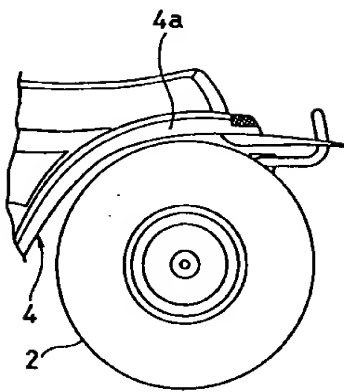
代理人 弁理士 小 川 信 一  
弁理士 野 口 賢 照  
弁理士 斎 下 和 彦

(5)

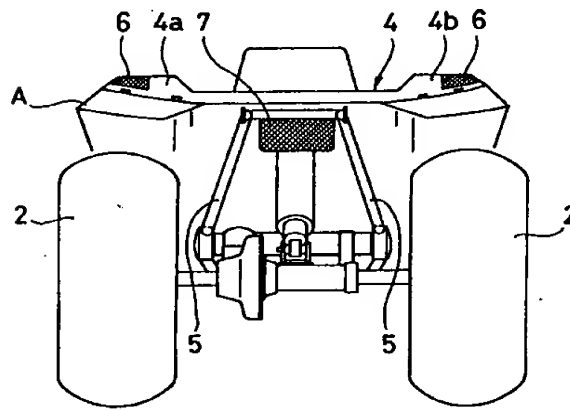
第 1 図



第 2 図



第 3 図



CLIPPEDIMAGE= JP359149834A  
PAT-NO: JP359149834A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 59149834 A  
TITLE: SETTING STRUCTURE FOR CAR LIGHTING APPARATUS

PUBN-DATE: August 27, 1984

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

WATANABE, HIRONOBU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

YAMAHA MOTOR CO LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP58022785

APPL-DATE: February 16, 1983

INT-CL\_(IPC): B60Q001/04

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent a car from being simply damaged in time of its turning sideways, despite a simple structure, by installing each of turn signal lighting apparatus in a way of situating them more inside than the outside end, in an extension part of the rear fender of a motor three wheeler or the like.

CONSTITUTION: The setting structure of each of turn signal indicators 6 is as follows that these indicators 6 are installed in each position situated more inside than the outside end to each of extension parts 4a and 4b of a plastic rear fender 4 so that when a car turns sideways to the left by way of example, first an outside end A of the extension part 4a touches the ground, thus an impact in time of turning sideways will not act on the turn signal indicator 6 so directly. Afterward, the car further goes to tilting and even if the

indicator 6 touches down to the ground, the plastic rear fender 4 in herently has its own resilient capabilities and in addition, with large elastic deformation in the fender 4, the impact of collision is well relieved to ease whereby damage to the turn signal indicator 6 in time of said turning sideways can be prevented. What is more, it will do enough with a simple structure.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio